

株主通信

2023年12月期

2023.1.1 ▶ 2023.3.31

GMOフィナンシャルHD

証券コード：7177

一体経営を推進し 強固な事業基盤を構築

代表執行役社長
COO

石村 富隆



当第1四半期の連結業績は、店頭FXの収益性改善が進んだことなどから前年同期を上回る営業収益を確保しました。利益面では、タイ証券事業に係る貸倒引当金繰入額を追加計上しましたが、増収効果に加えて暗号資産事業におけるコスト削減も寄与し、営業利益及び経常利益は増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は法人税等の増加を受けて減少しましたが、3四半期ぶりに復配を実現することができました。

当社及び当社連結子会社(以下、GMO-FH)は「強いものをより強くする」の方針のもと、既存事業の基盤強化と成長性が期待される新規事業領域への投資を行うことで持続的成長を図っています。2023年は、強みであるFXとCFDの多ブランド展開とグループ各社間の連携強化による一層のGMO-FHの一体経営を推進しています。

証券・FX事業では、引き続き店頭FXの収益性改善とCFDのクロスセルに注力しており、2023年4月からは外貨ex byGMOでのCFD取引サービスの提供を開始しました。暗号資産事業では、暗号資産市場が低迷する中、新たな収益源の確保による収益安定化を最重要課題として各施策に取り組んでいます。これまでのストック型商品の拡充に加えて、GMOコインにおいて店頭FX取引サービスの提供を開始しました。GMOコインでは暗号資産以外の金融商品も取引できるマルチアセットプラットフォームを目指し、成長を図っていきます。また、当社は2023年4月13日付で株式交換によりGMOコインを完全子会社化しました。グループ資源の効率的かつ機動的活用により既存事業の基盤強化を推し進め、企業価値を向上します。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

決算ダイジェスト

(2023年1月1日～2023年3月31日)

▼第1四半期決算のポイント

店頭FXの収益性改善が進み、全体の増収を牽引

当第1四半期

営業収益

13,671 百万円
(前年同期比+15.6%)

営業利益

3,775 百万円
(前年同期比+11.2%)

経常利益

3,856 百万円
(前年同期比+5.1%)

親会社株主に帰属する四半期純利益

2,258 百万円
(前年同期比△7.0%)

業績レビュー

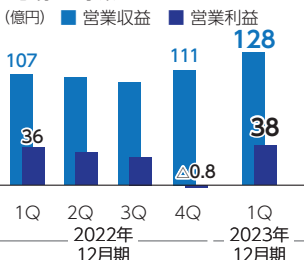
(2023年1月1日～2023年3月31日)

証券・FX事業:店頭FXは、収益性改善施策が奏功して収益が増加しました。また、CFDについては、売買代金は減少したもののコモディティ関連銘柄が好調で収益が増加しました。その結果、当セグメントの営業収益は128.3億円(前年同期比19.4%増)となり、営業利益はタイ証券事業等に係る貸倒引当金繰入額15.4億円を計上したこと等により38.6億円(同5.1%増)となりました。

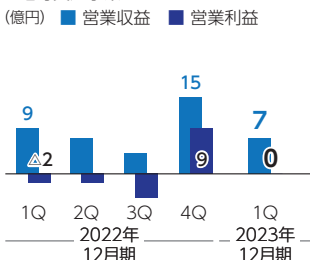
暗号資産事業:顧客基盤の拡大に向けて銘柄追加やキャンペーンを展開し口座数は増加した一方で、暗号資産市場が低調に推移する中、売買代金は前年同期比62.7%減と大きく減少しました。以上の結果、当セグメントの営業収益は7.7億円(前年同期比16.9%減)となりましたが、コスト削減の取り組みが寄与し営業利益は3百万円(前年同期は営業損失2.1億円)となりました。

■ 四半期業績の推移(セグメント別)

<証券・FX事業>



<暗号資産事業>



トピックス

GMOコインとFXプライムbyGMOの吸収合併について



GMOコインとFXプライムbyGMOは、2023年5月23日開催の両社取締役会において、GMOコインを存続会社、FXプライムbyGMOを消滅会社とする吸収合併を行うことを決定しました。本合併の効力発生は、2023年9月1日を予定しています。

GMOコインは、暗号資産業界全体の低迷を受けて取引高が大きく減少する中、暗号資産以外の金融商品を一つのプラットフォームで提供することで利便性向上とクロスセル推進による収益源の多様化を図るため、2023年4月26日より店頭FX取引サービス「外国為替FX」の提供を開始しました。一方、FXプライムbyGMOは、主要な顧客層である投資初心者に寄り添ったコンテンツ提供に注力してまいりましたが、国内FX業界において相対的に規模が小さく、厳しい競争環境の中で顧客基盤拡大に向けた投資を行うには経営基盤の拡大が必要な状況に置かれています。

これらの状況を総合的に勘案し、持続的成長に向けて事業の一層の効率化及び経営基盤の強化を図るため、本合併を実施することとしました。両社のノウハウ融合によるサービスの利便性と顧客満足度の向上、システム統合・人財配置の最適化によるシナジー効果により、収益の安定化とさらなる利益成長を図ってまいります。

CFD取引サービス「外貨ex CFD」を提供開始

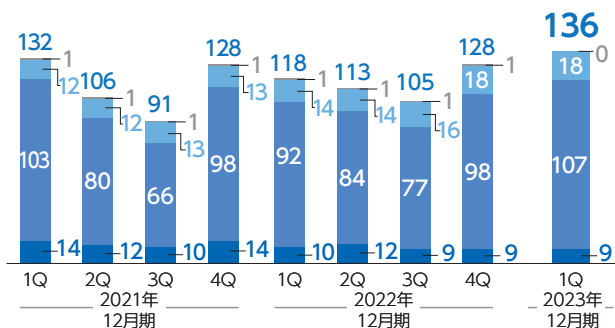
外貨ex CFD 外貨ex byGMOは、2023年4月17日より世界各国の株価指数や金・原油などのコモディティにレバレッジを効かせて取引ができる「外貨ex CFD」サービスの提供を開始しました。GMOクリック証券でも注力し、新たな収益の柱にまで成長したCFDを外貨ex byGMOでも提供することで、CFDの成長を加速させてまいります。

GMO外貨 なお、外貨ex byGMO株式会社は、一層の認知度及びブランド価値の向上を図るべく、2023年7月1日付で社名を「GMO外貨株式会社」に変更する予定です。

四半期業績の推移

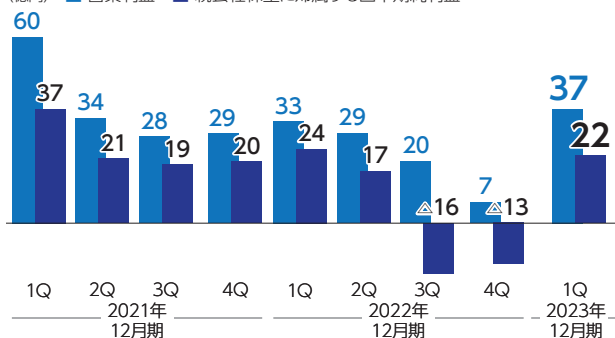
営業収益

(億円) ■ 受入手数料 ■ トレーディング損益 ■ 金融収益 ■ その他



営業利益／親会社株主に帰属する四半期純利益

(億円) ■ 営業利益 ■ 親会社株主に帰属する四半期純利益



株主還元方針と配当の状況

当社は、株主に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向50%以上を目途に、四半期ごとに配当することを目標としています。

2023年12月期第1四半期末配当につきましては、上記方針に基づき1株当たり10.10円といたしました。

(単位:円)	1Q	2Q	3Q	期末	年間
2022年12月期	12.50	8.50	0.00	0.00	21.00
2023年12月期	10.10	—	—	—	—

ホームページのご案内



<https://www.gmofh.com/>

月次開示情報や決算説明資料、各種開示資料等、タイムリーな情報提供に努めています。ぜひ、ご覧ください。

会社情報

(2023年3月31日現在)

会社概要

商号	GMOフィナンシャルホールディングス株式会社 (GMO Financial Holdings, Inc.)
本店所在地	〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-2-3 渋谷フクラス
代表者	代表執行役社長 COO 石村 富隆
事業内容	金融商品取引業等を行う連結子会社の経営管理 ならびにこれに附帯する業務
設立	2012年1月4日
資本金	705百万円
従業員数	456名(連結)

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場		
証券コード	7177	上場日	2015年4月1日
事業年度	1月1日～12月31日	定時株主総会	毎年3月
定時株主総会基準日	12月31日	1単元の株式数	100株
剰余金の配当基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日		
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
電話お問合せ先	TEL:0120-782-031 (フリーダイヤル)		
ホームページ	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/		
公告の方法	電子公告 公告URL: https://www.gmofh.com/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。		